

裏磐梯だよい



No.57

2012年11月



磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター

季節の一枚 ㊸

「雄国せせらぎ探勝路」

裏磐梯の冬は、突然やってきました。先週までは鮮やかな紅葉が残っていましたが、一変、雪景色。その変化が素晴らしい情景を生み出しました。雄国沼に向かう途中で、ふと足を止めた景色です。雪に染まりきらない森と雲から挿す光が美しく幻想的でした。空を見上げると、木々の枝でゴジュウカラやエナガがせわしくエサを啄んでいます。森に目を向けると、まだ雪が少ない山をカモシカが軽快に登っていきます。この日出合ったツキノワグマは、冬ごもりに備えてたくさん食事をしたのでしょうか、ふっくらしているように見えました。夏と違い息を潜めると自分の息づかいしか聞こえてこない厳しい冬は、もう少し先。秋から冬へと変わっていく「今だけの森」を見つけました。 (撮影日 2012年11月15日)

年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ

2012年 春から初冬の裏磐梯

季節の見どころを追いながら、2012年の裏磐梯を振り返ってみましょう。

4月始め、ビジターセンター周辺にはまだ1mほどの厚さで残雪がありました。日ごとに消えると思いきや、4月5日に新たに20cmの積雪があり冬に逆戻り。GWの五色沼散策で雪を踏んで歩くことになり、驚いた方も多かったと思います。

オオヤマザクラも春の雪にびっくりしたのか開花が遅れ、5月10日頃に桧原湖周辺で見ごろとなりました(例年の見ごろはGW中)。雄国沼のニッコウキスゲの見頃も2011年の7月4~10日より少し遅れて7月10~15日頃、2011年に多くの花を咲かせたコバイケイソウはほとんど花芽をつけず咲きませんでした。

梅雨から夏にかけては、時折豪雨に見舞われたものの本当に雨が少ない夏でした。桧原湖や銅沼など湖沼の水位が例年と比べてずいぶん低く、山の上では水場が涸れた所もあったようです。各地で35℃を超える猛暑を記録したこの夏、裏磐梯では28℃を超えた日が17日、最高気温は29.5℃とおよそ例年並みの暑さ(ビジターセンター記録)。ところが残暑が厳しく、お盆を過ぎれば涼しくなるはずの裏磐梯もなが~い夏になりました。



残暑のあとに台風が続き、紅葉は一週間~10日ほど遅れて始まりました。例年10月下旬に見ごろを迎える桧原湖周辺が色付き始めたのは10月21日頃。「今年の紅葉は大丈夫?」と心配しましたが、この頃から朝晩の冷え込みがぐっと厳しくなり、日ごとに色づいて10月28日頃には色鮮やかなピークを迎えました。

11月2日には磐梯山が雪で白くなり、11月14日にはビジターセンター周辺にもうっすらと雪が積もりました。冬は、例年とあまり変わらない時期に始まったようです。

こうして振り返ってみると、今年は、自然のバランスが少しおかしかったように思います。気候との因果関係は分かりませんが、ツキノワグマの目撃件数も多い年でした。「例年は…」という裏磐梯の見ごろのお知らせをするのも難しく感じました。これから本格的な雪のシーズン、冬ならではの楽しみが目白押しです。いつまでも、春夏秋冬のメリハリがある裏磐梯であってほしいですね。

(ツキノワグマの目撃は、同一個体の場合もあり、また、探勝路の利用者数にも影響されます。件数の増加=個体数の増加とは限りません)

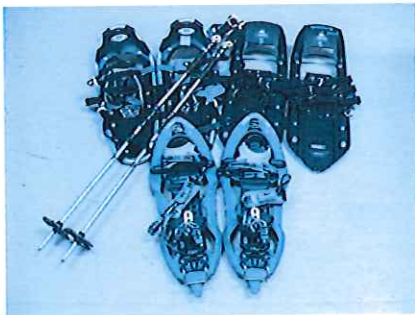
裏磐梯のはてな?

来館者のみなさんによく聞かれる「?」にお答えします



「スノーシューってどんなもの?」

聞いたことはあるのですが…私にもできるのかしら?



デザインや機能いろいろ。まずはレンタルで体験するのがおすすめです。

スノーシューは、雪に覆われる大地に暮らす人々が移動に使っていた履物。靴につけて足裏の面積を大きくすることで雪に沈みにくくする、日本であれば「かんじき」のようなものです。足裏全体を固定するかんじきとは違い、かかとが固定されないので足を運びやすくなっています。また、滑って進むスキーとも違い、一歩ずつ雪を踏んで歩くので、初めての方でも比較的コントロールしやすいのが特徴です。

裏磐梯の地形は湿地や沼など雪が積もって平坦になる場所が多く、初めてのスノーシュートレッキングにぴったりです。雪の中の青い沼や、元気な動物たちの足跡、一面の雪景色を楽しめます。

長靴では隠れて埋まってしまうツツツの新雪も、スノーシューですれすれ歩ける!

「スノーシューさえあれば、雪のトレッキングも大丈夫?」

スノーシューはあくまでも履物なので、ルートや危険箇所までは教えてくれません。1メートル以上の積雪がある裏磐梯では、夏に頼りにしていた案内看板やベンチは雪の下にすっぽり隠れてしまい、まるで別世界です。まずはガイドツアーなどに参加して、雪の魅力を満喫しましょう!

※「裏磐梯」「スノーシュー」などのキーワードから、ツアープログラムやレンタル情報を検索できます

※スキーウェアのような暖かい服装、飲み物や行動食を必ず用意しましょう



やってみよう!

裏磐梯やいつもの暮らしの中で出来る自然観察、自然体験を紹介します

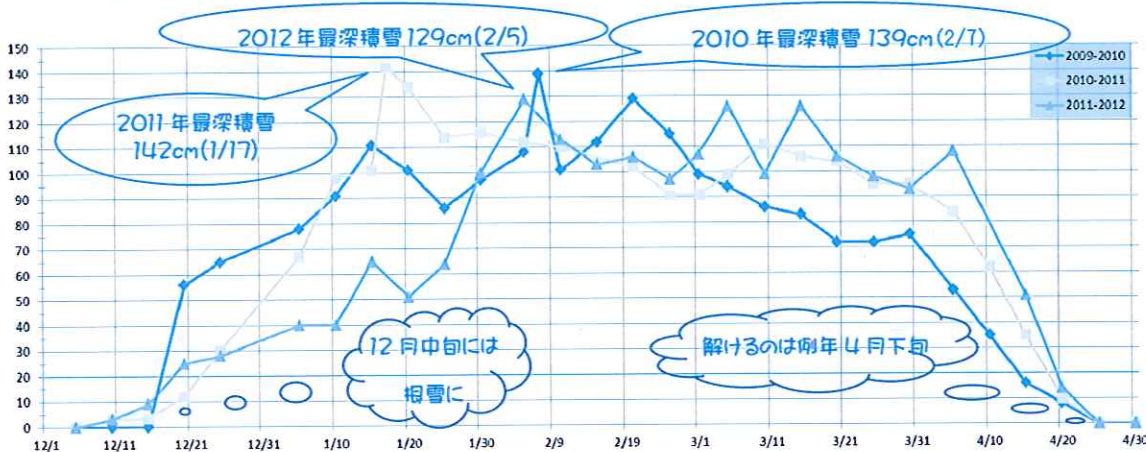


「雪の記録を残してみよう！」



裏磐梯ではもう雪の便り。「昨年、初雪はいつだったっけ?」「どれくらい積もったっけ?」「結局、多かった?少なかった?」・・・月日経つと記憶がどんどん曖昧になり、印象だけが強く残りがちです。一昨年、その前の年ともなると、いつがいつの年だったのか、中々思い出すことはできなくなってきます。

そこで、ビジターセンターでは2008年の冬より毎日(休館日を除く)積雪を記録しています。記録を残すことによって、初雪がいつで、最深積雪はどれほどで、いつまで残ったのかなど、過去との比較にとっても役立ちます。さらにグラフにしてみると一目瞭然です!下のグラフは過去3シーズンの雪の記録です。(スペースの都合上、簡略化してあります)



雪の量や降り方は地域によって様々だと思います。そして、春になって「私の地域はこうだったよ!」と教えてもらえると、裏磐梯との違いも分かって面白いかもしれません。この機会に一緒に雪の記録を残してみませんか?

日本の国立公園

国立公園で働く方にその国立公園の魅力をご紹介します

国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在30の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園です。



りしりれぶん

「利尻礼文サロベツ国立公園」

昭和49年9月20日指定、陸域面積24,166ha、北海道



サロベツ原野エゾカンゾウと利尻山

サロベツ湿原センター 嶋崎暁啓さんよりご紹介いただきます

年平均気温わずかに6℃。海拔0mから高山植物が観察できる日本最北の国立公園です。洋上にそびえ立つ利尻島は島全体が山になっており、リシリヒナゲシなどの固有種が咲く登山客に人気の島です。また、レブニアツモリソウなどの固有種が見られる礼文島は、島全体が花で覆われている美しい花の島です。どちらも島という隔離された環境の中で、独特の生態系が育まれてきました。

サロベツ原野は低地における日本最大の高層湿原として知られ、貴重な動植物の宝庫です。サロベツ湿原センターは「人と自然の共生」をテーマに、地域の自然や開拓の歴史を紹介しています。夏は木道を、冬はスノーシューを履いて広大な雪原(実は湿原の上)を自由自在に歩き回り、雄大な景色や可憐な花々、そして野生動物との出会いを楽しめます。それぞれに「山の島」「花の島」「大湿原」という異なる魅力がありますので、ぜひ日本最北の豊かな自然や食、温泉を満喫しにお越し下さい。



レブニアツモリソウ



利尻島のピーク

◆サロベツ湿原センターウェブサイト

<http://www.sarobetsu.or.jp/center/>

裏磐梯秋まつりに出展しました！

「エコツーリズム関連ブース～みんな水と共に生きている～」10月14日(日)

当日は気持ちのいい秋晴れで、会場は 2,500 人ものお客様でにぎわいました。ビジターセンターの出張テントでは、おすすめレッキングコースや特定外来生物のウチダザリガニ、裏磐梯の湖沼の水のゆくえなどを紹介しました。水の流れがわかるボードゲームでは、「裏磐梯の水は猪苗代湖に行くんだ」と皆さん納得。さらに日本海と太平洋へ注ぐことに驚いていました。



環境省裏磐梯自然保護官事務所主催 自然ふれあいイベント

「吾妻川溪流・布滝の紅葉ハイキング」10月20日(土)

今年の紅葉ハイキングは、少人数での開催となりましたが天気にも恵まれ和気あいあいとした楽しいハイキングになりました。

この探勝路では立派なカツラの木が多く見られ、歩いていると時々カツラの葉の甘い匂いが漂ってきて、その度にみんなで足を止め木を見上げていました。今年は紅葉が遅れていてピークには当たらず少し残念でしたが、みなさんに楽しんでいただけたようです。



「環境省裏磐梯地区パークボランティア写真展」来春まで開催中

パークボランティアの皆さんが磐梯朝日国立公園内で撮影した様々な自然の写真を館内レクチャールームに展示しています。ビジターセンターにお越しの際は、ぜひご覧ください。



お知らせ

※ウェブサイトからも開催内容やイベントカレンダー、たよりをご覧ください

裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会主催イベント

★講演会「旅するタネのひみつ」11/24

多田多恵子さんを講師に迎え、植物のタネに秘められた驚きの知恵と工夫を紹介していただきます。

★ガイドウォーク

「冬のわくわく散歩」(1~3月開催予定)

スノーシューを履いて、雪の降り積もった毘沙門沼にでかけます。初めてスノーシューを体験する方にお勧めです。

冬のイベントの詳細は、1月~ウェブサイトに掲載します

裏磐梯周辺道路の冬期閉鎖

- 福島県観光有料道路(磐梯吾妻スカイライン、磐梯吾妻レークライン、磐梯山ゴールドライン)
11/15~来春再開通まで
- 県道2号 米沢猪苗代線(旧西吾妻スカイバレー区間)
11/15~来春 4/26 まで
- 県道 64 号会津若松裏磐梯線(松原~細野区間)
12月中旬頃~来春 4月中旬頃まで

※他の一般自動車道は除雪されますが走行にはスノータイヤやチェーンなどの滑り止めが必要です。



★定期購読(毎月郵送にて送付致します)

年6回隔月発行の「裏磐梯だより」定期購読をご希望の方は、封筒にご住所とお名前を明記の上、80円切手6枚(1年間の送付に使用)を同封して「裏磐梯ビジターセンターたより係」までお申込みください。

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

入館無料

開館時間

◇ 夏季(4月~11月) 午前9:00~午後5:00

◆ 冬季(12月~3月) 午前9:00~午後4:00

休館日 火曜日、年末年始(今年度は12/29~1/3) ※火曜祝日の場合は開館し、翌日休館

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰 1093

TEL 0241-32-2850 / FAX 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>

ビジターセンターの窓から…久しぶりに磐梯山が見えた!と思ったら、白くなっていたり、解けて元に戻ったり。雲の玉手箱(たか)ノ木の葉が落ちて山々はほっそり。木の枝の隙間にキラキラと星が見える季節になりました(こん)ノ雪が降ると外に出たくなくなります。外に出ると中に入りたくなくなります(わ)めっきり寒くなり、毎日、こたつの中で猫たちとなわばり争いです。(ひろ)

